

さくら湖管理ニュース

No.65
2月
2007年
発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

第4回 さくら湖水源地域ビジョン策定委員会 開催 ～ 水源地域ビジョン 策定!! ～

「第4回 さくら湖水源地域ビジョン策定委員会」を平成19年2月23日（金）さくら湖自然観察ステーションにて開催し、水源地域ビジョンが策定されました。

水源地域ビジョンとは、地域の持続的な恒久的な活性化を目指し住民や自治体、ダム事業者、関係行政機関と協力しながら策定する行動計画づくりです。

では、今回開催致しました委員会の内容についてですが、前回頂いた意見についての対応、確認。策定後、ビジョンがより良く進んでいくための推進体制等について、事務局より説明致しました。推進体制では、これまでビジョンに深く携わって頂いた方々を中心に、マスコミにも参加頂く構図とし、さくら湖流域で活動されている方々に広く参加を呼びかけていくことで了解を頂きました。

多少の修正はあるものの、「さくら湖水源地域ビジョン」として了承を頂き、無事策定することができました。平成14年度より準備を開始、「地域の意見を聞く会・返す会」「分科会」等に数多く足を運んで下さった方、策定委員の方には心より感謝申し上げます。

まだまだ策定されたばかりで、問題はこれからだ。と言われるかもしれませんが、来年度よりビジョンに基づく活動をスタート致しますので、是非興味のある方は管理所まで連絡下さい。

今後も「さくら湖水源地域ビジョン」をよろしくお願い致します。

これからも、ビジョンの活動についてその都度お知らせしていく予定です。



南 河川部長



会場の様子



山下管理所長



鈴木委員長



鈴木町長

「三春ダム管理所事故防止対策協議会」 による安全パトロールを実施

2月14日（水）三春ダム管理所事故防止対策協議会では、工事事故防止の徹底を目的として、工事現場の安全パトロールを実施しました。

管理所側7名、請負業者側8名で現在施工中の「三春ダム周辺維持工事」の現場を点検しました。

当日は、前日までの好天からうって変わって、季節はずれの雨模様の天候のため、現場での作業が打ち切りになり、少々さびしいパトロールとなってしまいましたが、幸いにもパトロールの間だけ雨が小やみになり、何とか現場事務所と2ヶ所の現場の点検を無事行うことができました。参加者は現場代理人から説明を受けながら現場内各所について点検を行い、その結果を点検表に書き込んでいました。



現場事務所の点検



現場2（堤体下流）

現場点検終了後、管理所会議室において検討会を行い、良かった点、改善すべき点等について活発な討議があり、最後に山下管理所長より今回のパトロールの講評と事故防止についてのお話をいただきました。

監督職員及び請負業者のみなさんにおかれては、今回の安全パトロールの点検結果を今後の工事事故防止に役立てていただければと思います。



管理所内会議室（検討会）

ゆきみらい2007 in 会津 に参加して



会場の様子

電気通信係：増田

平成19年 2月 9日（金） 天候：はれ

毎年2月の頭頃に開催される雪みらいに参加してきました。

『雪みらい』とはいったい何なのか？

積雪寒冷地である東北地方同様の課題を持つ北海道及び北陸地方と連携し、克雪・利雪技術の現状や課題等を発表する場であり、また、雪国独自の歴史・文化の伝承等様々な取り組みに対する意見交換や、情報交換を通じて『雪国の未来を展望し、地域活性化を図り、雪国の発展に寄与していこう』ということで雪みらいが開催され、今回で22回目だそうです。

毎年同じ場所で開催されているかというところではなく、今回は会津若松市で、去年は新潟県上越市、その前は北海道旭川市で開催され、東北・北海道・北陸と毎年持ち回りしてるのです。

『雪みらい』会場は、「ゆきみらい研究発表会」、「除雪機械展示・実演」、「見本市」と3つの会場に分かれており、ぼくはそのうち「除雪機械展示・実演」を重点的に見学してきました。

会場には、たくさんのお見学者がいて、中には小学生（くらいかな？）も先生に引率されて見学に来て、並んだ除雪機械の大きさや種類の多さにびっくり仰天！という微笑ましい場面も見受けられました。

さて、雪氷対策における様々な機械があり、除雪トラックやグレーダ、ドーザ、凍結防止剤散布車、ロータリー除雪車などが展示されていたのですが、その中で目についた展示をいくつか紹介していきたいと思います。

<除雪トラックの投雪抑制装置>

除雪トラックは、そもそも高速で除雪作業ができるという利点から開発された除雪機械なのですが、除雪速度と比例して投雪距離も伸びます。ところが、市街地でそういった作業をすると歩行者や家屋に投雪が当たり、危険やら迷惑やら……。結果、市街地での除雪作業では低速除雪となり、渋滞を作り出す原因の一つとなっていたわけです。

そこで、そういった問題を緩和するために開発されたのが『投雪抑制装置』というもので、除雪トラックに「プラウ」と呼ばれる車体の前の方に雪をとばす板があるのですが、その左端に投雪距離を調節できる装置をつけ、作業時間の短縮、交通渋滞の緩和といった問題を解消しました。といった具合に各除雪機械の開発や新製品紹介等が現地で行われていました。



投雪抑制装置



凍結防止散布装置

<凍結防止剤散布装置>

冬になると一番やっかいなのが『路面凍結』です。路面が凍結する流れとして、明け方もしくは日中雪が降る→日中暖かいので朝降った雪が解ける→夜から明け方の冷気で路面がパリンパリン……。(なんかこんな感じで書いてみると『朝出して夕方ぱっちり！』っていう宣伝文句が頭の中をよぎったのですが、そんなの無視して続けます。)という具合で次の日の朝には路面はつるつるになり、人や車までもがつるんと滑ってしまい事故が起きてしまうのです。

三春ダムにこられる方々にはわかると思うのですが、三春ダム入り口にある正門から駐車場までの間にある坂道&カーブ。そこが凍結することにより徒歩や車での通行が非常に困難なことに……。最悪事故につながります。



そこで、路面が凍結しないよう路面温度センサーやタイマー機能を用いて自動的な凍結防止剤散布装置があり、いろんな種類の装置がありました。ここで展示していた機械を一つ一つ紹介していくとページが足りなすぎるので、こちら辺で締めたいと思います。

シリーズ化してくれてと言われても困るし……

(えっ!? タイトルは『雪みらいについて～除雪機械に愛を込めて～』って感じでいい?)

あっ、そうそう除雪機械展示の他に実演(デモンストレーション)もやってみました。

ただ、今年は暖冬だったため雪が足りず実演回数が進むにつれ雪がすす黒くなり、最後には申し訳なさそうに溶けてしまい、迫力が欠けてしまいましたが……。

でも、何で『三春ダム管理所』の勤務する人間が『雪みらい』に出ているの? ダム管理が主な業務なのによって顔してませんか?

確かにその通りなんですけど、年間を通じて見学しやすいようダム周辺を整備をするのもまたダム管理の一つであり、冬場でも心おきなく見学して頂くよう知識や技術を導入するために今回『雪みらい』に参加してきました。

今後の業務に見学してきた技術を生かせればなと思います。



**ミーちゃん&れんくんの
なぜ?なに?さくら湖**

Q. ダムのチェック（点検）は、1年間に何回するのでしょうか？

A. ダムの点検（巡視）は、堤体巡視・湖面巡視・さくら湖周辺巡視に分かれ、ダムの安全確認や設備点検のため毎週定期的に行なっています。この他に洪水調節やリフレッシュ放流などでダムから水を放流するときに、放流設備・警報設備の点検やさくら湖周辺・下流の巡視を行ないます。また、震度4以上の地震があった場合、堤体（計測値・外部・内部状況）・放流設備・通信設備・上

流（計測計）や下流の巡視を行ないます。ダムの点検は、ダム機能が正常に運用できるように365日24時間体制で万全な管理に努めています。



堤体巡視



放流設備点検



湖面巡視



いろんな点検があるんだね

三春ダム資料館からのお知らせ



**さくら湖流域
地域桜の写真展**

三春町在住の根本紀さんが撮り貯めた、さくら湖周辺から大滝根川上流に咲く桜の写真16点を展示します。撮影場所や撮影年月日もご紹介しておりますので、参考になさってください。

**平成18年度 阿武隈川上流
児童図画コンクール入賞作品展 開催
期間 3月30日(金)～4月30日(月)**

18市町村（154校）の小学校から応募のあった2,002作品の中から選ばれた入賞作品（ポスター部門27点、図画部門26点）を展示します。



俳句ポスト 作品紹介

2月の作品です



さくら湖
はいく考
えにらめっ

早春の
室澄み
緩り
春の月

春近し
湖面をた
たき
鳥遊ぶ



編集後記

「平成18年度阿武隈川上流児童図画コンクール入賞作品展」が資料館展示ギャラリーで開催されますが、このコンクールに応募された2,002作品を紹介した「児童図画作品集」を閲覧コーナーに追加しました。どの作品も色彩豊かでのびのびと描かれ、子供たちの川や水に対する思いや願いなどが感じられます。さくら湖周辺の小学生の作品も多く、題材にさくら湖や春田大橋が使われ、三春ダムを身近に感じてくれているんだなあととても嬉しく思いました。（石井）

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内
403-4

TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>